

施策番号	2101		
施策名	便利でくらしやすい生活圏づくり		
概要	便利でくらしやすい生活圏の形成のために、だれもが徒歩や公共交通により鉄道駅などの交通拠点周辺で医療、教育、行政、買物などの日常サービスが享受できるよう、周辺居住環境との調和に配慮しつつ、公共交通ネットワークと一体となった都市機能の配置を図る。		
担当局・部室	都市計画局・都市企画部	共管局・部室	
上位政策	21 土地利用と都市機能配置		
施策に関する主な分野別計画等	京都市都市計画マスタープラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名	年度	年度	23年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 交通拠点周辺の集客的土地利用の割合(%)	-	-	28.4	28.2	29.0	97.2%	c	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
客観指標総合評価							c	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	23年度回答						有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1 買物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利である。	158	199	113	46	29	545	b	
	29.0%	36.5%	20.7%	8.4%	5.3%			
2 -							-	
3 -							-	
4 -							-	
5 -							-	
市民生活実感調査総合評価							b	



- そう思う
- どちらかと言うとそう思う
- どちらとも言えない
- どちらかと言うとそう思わない
- そう思わない

3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					年度	-
	重み付け	<input type="checkbox"/> 客観指標	c	<input checked="" type="checkbox"/> 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 便利で暮らしやすい生活圏であるか否かを評価するには、交通拠点周辺において実際に買い物などの日常生活には徒歩や自転車、公共交通が便利であると市民が実感することが重要であると考えため。						年度	-
(原因分析) ・市民生活実感調査から、買い物などの日常生活には徒歩や公共交通機関の利用が便利であるとの評価を受け、B評価となっている。						年度	-

今後の方向性の検討

＜この施策を構成する事務事業＞

	事業名	事業費の状況(千円)		23年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		22年度 決算額	23年度 予算額		
1	御池地下街・地下駐車場建設事業等	686,783	691,807	良い	都市計画局
2	駐車場事業特別会計繰出金	85,807	83,474	-	都市計画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

＜今後の方向性＞

・客観指標評価については、原則、平成17年度の現況値を維持することとしつつ、関係他局と連携しながら、平成27年度に29%の数値目標を達成し、交通拠点周辺での買い物などの日常生活には、徒歩や自転車、公共交通が便利であると実感できるような生活圏の形成を目指す。

施策名	2101	便利でくらしやすい生活圏づくり										
指標名	交通拠点周辺の集客的土地利用の割合(%)											
担当課	都市計画課	連絡先	222-3505									
1 指標の説明												
地下鉄駅及び京都市都市計画マスタープランに位置付けのある拠点駅周辺(500m程度)エリアにおける建物延床面積合計のうち、商業・業務等の集客施設の延床面積合計の占める割合												
2 指標の意味			3 算出方法・出典等									
便利でくらしやすい生活圏づくりに向けて、交通拠点周辺の集客的土地利用の割合を示す指標			出典：事業担当課調べ									
4 数値												
	前回数値 17年度	最新数値 21年度	推移	目標値								
	28.4	28.2		数値	根拠	達成度						
数値	28.4	28.2	0.2ポイント減	29.0	原則、平成17年度の現況値28.4%を維持することとし、その数値を上回るよう努力する。	97.2%						
	全国順位	中長期目標			備考							
		数値	目標年次	達成度		根拠						
数値		29.0%	27年度									
5 評価基準		6 基準説明			7 評価結果							
最新数値が a：29.0%以上 b：28.4%以上29.0%未満 c：23.9%以上28.4%未満、ないし最新数値が前年度数値を上回った場合 d：19.4%以上23.9%未満 e：19.4%未満		<ul style="list-style-type: none"> ・目標値29.0%以上をa評価 ・平成17年度現況値28.4%以上をb評価 ・市域全体の実績値19.4%(20年度)を最低値として、それ未満をe評価 ・最低値と現況値の中間値23.9%を境にc評価・d評価 ・以上にかかわらず、拠点駅周辺エリアにおける商業等の集客施設の延床面積合計の占める割合は数箇年を経て達成していくものであるから、前年度数値を上回った場合はc評価 			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>C</td> </tr> </table>				23	-	-	C
		23										
-	-	C										